

軍事機密

(用済後焼却)

(紙數一枚)

昭和二十年八月十八日陸軍省調製

朕帝國陸軍復員要領ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

昭和二十年八月十八日

陸軍大臣 稔彦 王

軍令陸甲第一百十六號

帝國陸軍復員要領

- 第一條 本要領ハ帝國陸軍部隊ノ復員復員及陸軍中時編制部隊
陸軍ヲ含ム以下同シニ關スル事項ヲ定ム
- 第二條 復員スヘキ部隊ハ帝國全陸軍部隊トス
- 第三條 復員實施ノ細部ニ關シテハ陸軍大臣參謀總長協議決定スルモノトス

陸軍

帝國陸軍復員法施行規則

第一條 本細則ハ帝國陸軍部隊復員要領以下要領ニ附屬シ復員トアルハ

ソウ會ニ基キ實施スル事項ヲ規定ス

本細則ニ規定モサル事項ニ關シテハ復員管理官總監之ヲ規定スルモノトス

トス

外地部隊ノ復員ニ關シテハ別ニ之ヲ示ス

第二條 復員部隊ニ屬スル御眞影、勅諭、勅語及軍旗ノ處理ニ關シテハ

昭和二十年陸機密第三六二號（陸機密第六九號）及陸機密第三六五號

（陸機密第七三號）ニ據ルモノトス

第三條 要領要領ニ方リテハ承認必認ノ基準ノ處理ヲ懸置シ且各級指揮

官ハ精神教育ノ徹底ヲ期スルモノトス

第四條 復員管理官ハ海軍部復員要領ニ關シテハ復員管理官總監ノ指示ニ依リ

及復員

ノ復員實施ニ方リテハ成ルヘク社會的不安ヲ惹起シメザル如ク考慮

ナルト共ニ輸送能力等ヲモ勘案ノ上總辦タル實施ニ努ムルモノトス

人本營陸軍部、陸軍省、教育總監部、陸軍兵器行政本部及部下作業

廳、陸軍航空本部、總務司令部、航空總務司令部、軍管民司令部、

近衛第一師團、師管區司令部、航空師團司令部、船舶司令部、船舶

輸送部、内地鐵道司令部、停車場司令部、憲兵部隊、陸軍河運部

祭所（傳書情報所）、陸軍高等軍法會議、陸軍留守業務部、陸軍

司令部、陸軍補給諸廠及東京經理部ノ復員實施ハ當分之ヲ行ハサ

モノトシテ其ノ時期ニ關シテハ別ニ示ス

3 前號以外ノ部隊ノ復員實施ノ順序及時期ハ別ニ示スモノノ外復員

管理官ニ於テ之ヲ規定スルモノトシ其ノ實施ニ關シテハ別ニ之ヲ

示ス

4 治安警備等ニ必要ナル部隊等ノ復員ハ其ノ地方ノ特性ニ應シ復員

管理官適宜之ヲ定ムルモノトス

5 通信連絡等ニ必要ナル部隊等ハ關係部隊又ハ司令部等ノ復員完結迄

之ヲ復員セサルモノトス

第五條 復員部隊ハ輸送ノ混亂防止及途中ノ給與等ヲ考慮シ放ルハク

編成地歸還後復員 部隊ハ携帶兵器ノミ スルモノトシ已ムヲ得サルモ

ノハ當該部隊ノ現所屬最高指揮官ニ於テ適宜之ヲ現地ニ變更スルコ

トヲ得

前項編成地歸還後復員完結スル部隊ニ在リテハ其ノ復員業務ハ悉皆

現地ニ於テ之ヲ實施スルモノトシ編成地到着後認ニ復員完結スルモ

ノトス

又現地ニ於テ除隊（歸休除隊ヲ含ム）、召集解除又ハ豫備役編入スル

ヲ適當ト認ムル者、適宜之ヲ解散セシムルコトヲ得

第六條 復員部隊人員中現役武官 元帥ヲニ在リテハ所屬部隊復員ト共
除ク

ニ豫備役ニ編入セラレタルモノトシ陸軍文官（同待遇者）ニ在リテ

ハ辭令ヲ用アルコトナク退官（退職）セシメラレタルモノトス

其ノ他ノ者ハ成（ハク速ニ除隊）、召集解除、豫備役編入、解職（雇、傭）セシ
（歸休除隊ヲ含ム）

ムルモノトス

陸軍部外ノ官廳等ヨリ從軍中ノ文官以下ニ在リテハ部隊復員ニ伴ヒ

成ルヘク速ニ原所屬廳等ニ復歸セシムルモノトス

内地ニ在ル兵站病院、野戰病院等ノ入院患者ハ成ルヘク速ニ最寄陸

軍病院ニ轉送スルモノトス

陸軍病院以外ノ部隊ニ服務シアル現役軍醫、藥劑、齒科醫、衛生將
校及衛生下士官、看護婦ハ之ヲ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官ノ
定ムル所ニ據リ最寄陸軍病院ニ轉屬スルモノトシ之ニ伴フ編制定員
（増加配屬人員ヲ含ム）ニ過剩ト爲レル人員ハ先ツ召集者ヨリ逐次
召集解除又ハ豫備役編入セシムルモノトス

陸軍監獄ニ於テ行刑中ノ軍人、軍屬其ノ他陸軍監獄令第一條第二項ヲ記載スル者ハ速ニ除

除（歸休除隊ヲ含ム）、召集解除、豫備役編入スルモノトス

前項人員中必要ナル者ハ之ヲ地方關係機關ニ移管スルノ手續ヲ

取ルモノトス

第七條 復員部隊ノ人員中從來ノ編制ノ説明、殘務整理、物品監視等

ニ必要ナル者ハ前條第一項ニ拘ラス復員管理官ノ定ムル所ニ據リ一時適宜ノ部隊ノ定員外トシテ殘置シ部隊ノ狀況ヲ明ラカナラシムルノ措置ヲ講シ置クモノトス之カ爲作戰部隊中獨立混成旅團司令部ニ準スルモノ以上ノ司令部ハ其ノ將校ノ大部ヲ殘置スルモノトス

第八條 復員部隊ノ留守（補充）業務擔任部隊ハ復員部隊ノ恩賞、慰恤等留守業務ノ爲師管區司令官師管區部隊以外ノモノニ在リテハ之ニ準スル者及之ト同等

以上ノ權アル長官ノ定ムル所ニ據リ所要ノ人員ヲ其ノ編制定員ニ拘ラス最寄聯隊區司令部ニ轉屬スルモノトス

當分復員を行ハルベシ

第九條

第四條第一項

2ノ部隊ヲ在リテモ左ノ各號ノ該當者ハ當該

部隊ノ復員時期ニ拘ラス爲シ得レハ之ヲ除隊（歸休除隊ヲ含ム）

召集解除又ハ豫備役編入セシムルモノトス

ノ農業従事者中特ニ必要ナル者

2 交通通信關係者

3 鐵山（特ニ石炭）従事者

4 聯隊區司令部第一課、第三課ニ屬スル人員ハ第六條第一項ニ準シ

處理スルモノトス

第十條 復員管理官ハ部隊保管馬ノ處理ニ關シ左ニ據ルモノトス

ノ部隊保管馬及雜役馬ハ適宜地方廳ヲ通シ民間ニ拂下（巴ムヲ得サ

レハ無償交付以下同シ）クルコトヲ得

2. 前條ノ所ニ於テハ所要ノ馬、騾、重車、管理材料、蹄釘

蹄釘、馬糞ヲ附スルコトヲ得

3. 軍貸付馬及預託幼駒ハ其ノ管区内民間ニ地方廳ヲ通シ拂下クル

コトヲ得

第十一條 復員部隊ノ管理シアル軍犬、軍鳩ハ成ルベク地方關係機關

ヲ通シ民間ニ拂下又ハ無償交付スルコトヲ得

第十二條 復員部隊ノ有スル軍需品ノ處理ニ關シテハ昭和二十年陸機

密第三六三號ニ規定スル所ニ據ルノ外左ニ據ルモノトス

軍需品ハ復員管理官ノ定ムル所ニ據リ其ノ品目、員數等ヲ明ニシテ

ル上交通ノ便ヲ考慮シ概ネ部隊所在地毎ニ集積シ置クモノトシ特ニ

現状ヲ保持スルニ努メ散逸、隱匿、破壊ヲ嚴ニ戒ムルモノトス但シ

衛生材料ハ作戰集積及常備用ヲ含ムルハ最寄陸軍病院ニ保管轉換ス

ルモノトス

前項ニ據リ軍需品ヲ集積シタルトキハ復員管理官ノ定ムル所ニ據リ所
要ノ人員ヲ以テ警備セシムルモノトス

第十三條 復員部隊復員ニ伴フ諸給與ニ關シテハ昭和二十年陸密第五七
二九號ニ據リ處理スルモノトス

前項處理ニ伴ヒ部隊ニ殘存スル被服ハ前條第二、第三項ニ據リ處理ス
ルモノトス

第十四條 土地建造物ノ處理ニ關シテハ昭和二十年陸密第三六三號ニ
規定スル所ニ據ル

第十五條 復員部隊ニ保管シアル共有品ハ復員管理官ニ於テ地方機關ニ
拂下若ハ無償交付等適宜處理スルモノトス

復員部隊ニ保管シアル共有金使用殘額ハ臨時軍需費收入(科目雜收入

雜入)ニ納附スルモノトス

第十六條 復員部隊ノ保管シ又ハ貸與ヲ受ケアル部隊秘密書類ハ其ノ隊長ニ應ジ復員完結迄逐次之ヲ處理スルモノトス

第十七條 戦時名簿、功績名簿、考科表等ハ死没者ニシテ留守業務處理ノ終了セサルモノヲ除キ燒却スルモノトシ兵籍、文官名簿ハ悉皆之ヲ

聯隊區司令部ニ於テ確實ニ保管シ置クモノトス

之カ爲現ニ訓練ニ保管シアル兵籍、文官名簿ハ速ニ之ヲ本籍地聯隊區司令部ニ送付スルモノトス

第十八條 復員部隊ニ屬スル軍人軍屬ノ留守業務ハ死没者竝ニ傷疾者ノ

ミニ關シ別ニ指示スル所ニ據リ處理スルモノトス 其他別令ス

第十九條 陸軍職員計畫令細則ニ規定スル復員ニ伴フ諸報告ハ復員部
ノ復員完結後定日ヲ速報スルノ外之ヲ要セサルモノトス但シ第六條

三項ニ據ル陸軍病院長ハ専屬後ノ將校職員名簿ヲ速ニ陸軍大臣ニ提出
スルモノトス

又第十二條ニ據リ軍需品ヲ集積シタルトキハ其ノ集積地、品目、員數ノ
概數ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

第二十條 復員部隊ハ其ノ完結前概ネ左ノ要領ニ準シ復員式ヲ行フモノ
トス

ノ國家奉唱

2 明治十五年一月四日陸海軍人ニ賜リタル勅諭及昭和二十年八月十七日

陸海軍人ニ賜リタル勅語ノ奉讀

3 部隊長訓示

4 御眞影、勅諭、勅語及軍旗ノ奉燒

第二十一條 復員部隊ノ輸送ハ左ニ據ルモノトス

ノ復員輸送ハ現駐地ヨリ編成地迄ノ歸還輸送竝復員後ノ輸送ニ區分シ内

地鐵道司令官之ヲ計畫處理スルモノトス但シ復員後ノ輸送ニ於ケル計

畫輸送ノ範圍ハ復員地ヨリ各人ノ歸還地所管師管區司令部（復員地ト

同一軍管區内ニ在ルモノヲ除ク）所在地迄トシ左ノ復員後ノ輸送ニ關

シテハ單獨旅行トス

(イ) 當該軍管區内限りノ輸送（復員地及歸還地同一軍管區内ニ在ル場合

トス）

(ロ) 前項師管區司令部所在地ヨリ各人ノ歸還地ニ到ル輸送

(ハ) 一般ニ百名以内ノ輸送

右單獨旅行ハ適宜ノ列車ニ便乗セシムルモノトシ之カ列車ノ増發等ニ

關シテハ内地鐵道司令官適宜斡旋スルモノトス

2 師團長及之ニ準スルモノ以上ノ兵團長ハ前號内地鐵道司令官ノ計畫

スヘキ輸送ニ關シ轄下指揮下部隊ノ輸送請求ヲ至急内地鐵道司令官

及關係地區鐵道司令官ニ提出スルモノトス

右輸送請求ニハ特ニ左ノ事項ヲ明ラカニシ適宜ノ方法ニ據リ速達ヲ期

スルモノトス

(1) 部隊名

(2) 出發地及到着地別輸送人員

但シ右到着地ハ復員後ノ輸送ニ在リテハ各人ノ歸還地所管師管區

司令部所在地トス

(3) 出發可能日時

各軍管區司令官及内地鐵道司令官ハ相互協議ノ上當該軍管區管内ニ

在ル部隊ノ輸送順序ヲ定メ概ネ左ノ期日内ニ輸送ノ大部ヲ終了スル

如ク計畫處理スルモノトス

(1) 西部軍管區部隊

概ネ十五日

(2) 其他ノ管區部隊

概ネ十日

右輸送第一日ハ軍管區司令官、内地鐵道司令官協議決定スルモノト

シ概ネ右期間内ニ成ルヘク平均輸送スルモノトス

々各總軍(十面軍)司令官及軍管區司令官ハ内地鐵道司令官ト密ニ連

繫シ管内ト要驛ニ於ケル乘車統制ニ任シ各乘車驛ニ於ケル混亂防止

ニ努ムルモノトシ且復員後ノ輸送ニ在リテハ特ニ各部隊ヲシテ確實

ナル輸送指揮官(概ネ中隊長以上トス)ヲ附シ整齊タル輸送實施ニ

遺憾ナカラシムルモノトス

5 本輸送途中ニ於ケル給養ハ各部隊毎ニ之ヲ實施スルモノトシ乘車ノ

際概ネ七分(近距離ノモノハ適宜減少スルコトヲ得一ア概秣特ニ

給養ヲ指シ)

カシハシ抄
行セシムルモノトス但シ湯茶ノ補給ハ内地鐵道司令官之ヲ

擔任スモノト

本輸送ハ各人毎ニ公務運賃割引證又ハ下士官兵旅客運賃割引證ヲ

以テ輸送證票トシ無賃トス又ハ俵拂トス

右割引等ノ輸送區間ハ内地鐵道司令官ノ計畫スルモノト否トハ拘ラ

ズ現駐地ヨリ各人ノ歸還地迄ヲ記入スルモノトシ最終到着驛ニ於テ

當該驛長ニ之ヲ提出スルモノトス

（用濟後燒却）
軍事機密

（紙數一枚）

昭和二十年八月十九日陸軍省調製

醫第一號

陸軍病院ノ復員ニ伴フ業務處理ニ關スル件

昭和二十年八月十九日

醫務局長

關係陸軍部隊宛

陸軍病院ノ復員ニ伴フ業務處理ニ關シテハ左記ニ據ラレ度

左記

- 一 内地陸軍病院(分院ヲ含ム)ハ復員ト同時ニ軍事保護院ノ管理下ニ置キ傷痕軍人療養所トシテ收療業務ヲ續行スルモノトス
- 二 陸軍病院ニ在ル職員(將校、下士官、兵、看護婦、雇傭人等)ハ復員ト同時ニ軍事保護院ノ職員(取不取軍事保護院ノ囑託等ノ緊急措置ヲ講ス)トシテ傷痕軍人醫療保護業務ヲ實施スルモノトシ復員ト同時ニ職員表(前官職、業務分擔、専門科名、氏名、年齢)ヲ明記ヲ速カニ軍事保護院ニ提出スルモノトス
- 三 陸軍病院ノ建造物、被服、物品、糧秣衛生材料等ハ復員ト同時ニ悉皆軍事保護院ニ移管スルモノトス之カ爲此等ノ品目、數量ヲ明カナラシメ置クモノトス

四 復員ニ伴ヒ病院業務繼續ニ必要ナル書類借上施設關係書類及恩典關係書類ヲ
含ムハ其ノ儘繼續且保管スルモノトス

五 借上施設等ニシテ未使用ノモノ及緊要度渺キモノハ逐次之ヲ整理シ尙復員迄
ニ整理不能ノモノハ其ノ儘軍事保護院ニ移管スルモノトス

六 陸軍病院ニテ養成中ノ看護婦生徒ハ復員ト共ニ軍事保護院ニ轉屬シ教育ヲ續
行スルモノトス

七 赤十字病院ニ收療中ノ陸軍部隊患者ハ復員後引續キ同院ニ在リテ收療セシム
ルモノトス

八 陸軍病院復員完結ト同時ニ復員管理官ハ其ノ旨陸軍大臣、軍事保護院總裁及該
院所管地方長官ニ報告(通報)スルモノトス

九 復員後ノ病院ノ管理ニ關シテハ特ニ秩序ノ確保ニ遺憾ナキヲ期スルモノトス

軍事機密

(用済後焼却)

昭和二十年八月十四日陸軍省調製

陸機密第三六二號

御眞影、勅諭、軍旗等ノ御處理ニ關スル件達

昭和二十年八月十四日

陸軍大臣

最高指揮官宛

大命ニ依リ全面的休戦アラハ

御眞影、勅諭、軍旗及其ノ他御紋章

御眞筆ハ夫々奉戴(奉安)部隊長ハ現地ニ於テ奉還スルノ誠心ヲ以テ期ヲ失セス奉却

スヘシ

1160

陸軍

(用濟後燒却)
軍事機密

(紙數一枚)

昭和二十年八月十八日陸軍省調製

陸機密第三六五號

復員復歸スル部隊ノ御眞影軍旗等ノ御處理ニ關スル件達

昭和二十年八月十八日

陸軍大臣 総 彦 王

最高指揮官宛

若シ休戦前ニ復員復歸スル部隊等ニ於テハ 御眞影勅諭軍旗等ノ御處理ハ八月十

四日陸機密第三六二號ニ據リ實施スヘシ

尙軍旗ノ寫眞及簡單ナル略歴ヲ速ニ提出スヘシ

陸
軍

✓ 1161

精神教育資料

- 1 神州不滅ノ信念ニ徹シ百難ヲ克服シテ國體ノ護持ニ邁進スヘキコト
- 2 肅然トシテ統制アル皇軍ノ特色發揮ト堅確ナル軍人精神ヲ飽ク迄堅持シ良民タルノ基調タラシムルコト

又努力豊盛ニ導キ一致団結永ク自皇國一肉興ノ精髓ヲ多ク心ス

陸軍

陸軍第五〇二九號

陸軍解散ニ伴フ給與等ニ關スル件違

各總軍司令官

各軍管區司令官

陸軍大臣直轄官衙局長

陸軍解散ニ伴フ給與等ニ關シ別紙ノ通定ム

追テ全面的解散ハ未タ發令セラレサルニ付為念申添フ

昭和二十年八月十八日

陸軍大臣

別紙

陸軍解散ニ伴フ給與等ニ關スル件

第一條

解散(豫備役編入、召集解除、正官、解雇、解備其ノ他解散ニ類スル處置ヲ謂フ以下同シ)ヲ命セラレタル陸軍軍人、諸生徒(依託學生及依託生徒ヲ除ク)軍属(空務規程ノ適用ヲ受クル工員ヲ含ム以下同シ)等ニ對シテハ第一表ニ依リ退職賞與ヲ給スルコトヲ得

解散ヲ命セラレタル陸軍軍人、諸生徒、軍属ニ對シテハ前項ノ外解散當月ヲ含ミ從前ノ例ニ依リ三月分以内ノ俸給給料(手当金)戰地増俸及臨時家族手当(課附加給ヲ含ム)ヲ給スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル俸給及退職賞與ヲ除キ從前ノ規定ニ依ル退職賞與歸郷ニ要スル旅費其ノ他解散ニ伴フ金錢ニ依ル給與ハ之ヲ爲ササルモノトス

第二條

解散ヲ命セラレ歸郷スル陸軍軍人、諸生徒、軍属ニ對シテハ左ノ各號ニ依リ被服、裝具、糧食、日用品ヲ給スルコトヲ得

一 見習士官、下士官兵及諸生徒ニ對シテハ第一表ノ範圍内ニ於テ必要ナル被

服、裝具ヲ給ス

一 旅行途中及歸郷直後ノ所要措辦ノ爲第三表及第四表ノ範圍内ニ於テ糧食品及日用品ヲ給ス但シ糧食品ニ在リテハ現ニ糧食ノ官給ヲ受ケアル者ニ限り給ス

二 前号ノ給與ト共ニ歸郷直後地方側ヨリ生活必需品ノ配給ヲ受ケタルニ必要ナル轉出證明書等ノ發行其ノ他ノ措置ヲ講スルモノトス

第三條

前二條實施ノ細部ハ隸屬若ハ指揮系統ニ從ヒ當該方面軍司令官若ハ當該軍管區司令官ニ於テ規定スルモノトス

内地ニ在リテ前項司令官ノ隸下若ハ指揮下ニ在ラサル軍人諸兵徒軍屬ニ對シ當該所管ノ長官(親補職タル部隊ノ長官ヲ調ヒ陸軍大臣直轄ノ官衙學校ノ長ハ之ニ該當ス)ニ於テ前二條實施ノ細部ヲ規定スルモノトス

軍管區司令官ハ前二條ノ實施ニ關シ關係補給廠ヲ區處シ當該管区内ニ在ル隸下外若ハ指揮下外ノ部隊ノ給與ニ關シ所要ノ援助ヲ與ヘ其ノ實施ノ確實ヲ期スルモノトス

(注)

本條ノ給與係後述ノ如ク

註

本達ハ給與消後燒却スルモノトス

退職賞與ハ最近ノ金融状況ニ鑑ミ其ノ支拂要領ハ左ノ各號ニ依ルモノトス

一 退職賞與ノ額千九十圓迄ノ者ハ全額現金拂トス

二 退職賞與ノ額千百圓以上ノ者ハ千圓迄ハ現金拂トシ千圓ヲ超

スル部分ニ付テハ最寄銀行預入ノ期間三月ノ定期預金證書ニ依リ支拂ス

三 前號定期預金ハ預入銀行ニ非サル銀行ニ在リテモ拂戻ヲ受クルコトヲ得

四 定期預金證書用紙ハ中央ニ於テ準備交付スルモノヲ使用スルモノトスルモ還延ノ向ハ最寄銀行ノ用紙ヲ利用スルコトヲ得

第一表 退職賞與支給要領

- 一 軍人諸生徒(軍属)対スル退職賞與額ハ俸給給料(予當金)月額及特定戦地ニタル内地ニ於ケル戦地増俸月額ノ合計額ニ対シテ二月分トス
- 二 諸生徒ニ対スル特定戦地増俸(乙)額ハ階級相當額トシ階級ヲメ者ノ額ハ一等兵ノ額トス
- 三 工員ノ特定戦地増俸(乙)額ハ傭人ノ例ニ依リ且給者ニ在リテハ且給額ノ三十日分ヲ以テ月給トシ俸做ス
- 四 國民勤勞勤員令、船員勤員令等ニ依リ陸軍ノ勤務服シタル者ニ対シテハ取扱ニ應シテ夫々軍属ノ例ニ依リ給ス
- 五 勤員學徒ニ対シテハ退去申當ニ代ヘテ當月分給ヲ給ス
- 六 賞與額ニ十内未滿ノ端数アルトスハ十内ニ切リク
- 七 本表賞與額ハ勤怠ノ度及勤続年数等ニ應シテ適宜減額スルコトヲ得

第二表 被服器具

品目	数量	品目	数量	品目	数量
略	一	夏袴袴下	一	雜	一
夏衣袴組	一	陽靴若大靴	一	襪	一
冬衣袴組	一	地下足袋	一	靴	一
雨外套筒	一	卷鞆	一	午袋	一
外 套筒	一	銀 盒	一	生 布	一
冬襦袢袴下	一	水 筒	一	被服補修材料	一
				若干	

備 一本表被服器具は部隊に於て現に保有してあるモノヲ以テ充當スルモノ
 下レ米交付ノモノニ在リテモ補給スルモノトナレ
 考 二備付員數ノ關係ニ依リ支給困難ナルモノニ在リテハ部隊長ニ於テ適
 宜規定スルモノトス

第三表 糧食品携行基準表

考	備 一本表ハ辨當ノ外糧食品携行ノ基準ヲ示ス	調味品		副食 部隊ノ実情ニ依リ適宜ノ品種若干トス	主食		區分 品種	一日分定量	携行数量
		醬	味		乾	穀類(粉類)			
		油	噌		種一内	種	數		
		〇、〇、一、五、五	二、〇、五		六、九、〇、五	五、〇、〇、五			
		五日分			五日分				

第四表 日用品

品目	単位	数	量	品目	単位	数	量
歯磨粉	筒	一		鉛筆	本	二	
歯刷子	本	一		私製ハガキ	枚	五	
化粧石鹸	筒	一		燐寸	筒	(示)	一

備 一 鉛筆ニ在リテハ事務用品ス 燐寸ニ在リテハ燈火用材料ヲ流用ス
 ルコトヲ得

考 二 在庫ノ状況ニ應ニ本表ノ品目員数ハ減少スルコトヲ得



軍事極秘

陸軍第九〇一號

(用済後焼却)

糧秣及給養器具ノ處理ニ關スル件

昭和二十年八月二十日

陸軍省 經理局長

首題ノ件別紙要領ニ依リ處理相成度

通牒先 糧本、内地各軍管區

糧秣及給養器具處理要領

- 一 主食、副食、調味品及馬糧穀類ハ原則トシテ拂下ケルモノトス
- 二 給養器具其ノ他ノ器具類ハ食糧増産ニ寄ラズル如ク地方廳、農業會、水産業會其ノ他ノ組業組合ニ拂下クルモノトス
- 三 業者ニ交付シテハ自給材料ハ該業者ニ拂下クルモノトス
未交付ノ原材料、食糧増産ニ關係アル團社即チ地方廳、同代行機關、農業會、水産業會、農機具製會社等ニ拂下クルモノトス
- 四 以鹽施設及耕地活用施設ハ地方長官若ハ該團體ニ拂下クルモノトス

ス

五 特殊規格ノ食品工業（粉パン、粉味、粉醬油等）ハ直ニ之ヲ

中止シ一般民需ニ轉換スルモノトス

給養器具關係工業モ前項ニ準ス

六 本要領ニ依ル給養施設ノ時期ハ別ニ示サル、ニ付何時ニテモ速ニ拂

下ケ得ル如ク之ヲ完成シタクモノトス

七 本要領ニ基クテ、現況ニ關シテ、國産品ノ集積状況ハ成ルヘク之ヲ通報ス

ルモノトス

軍事機密

別紙

用済後焼却

軍需品等ノ緊急處置ニ關スル件達

軍需品及軍需工場等ノ處理ニ關シ左記ニ準據シ現地ノ實情ニ即應シテ
迅速、並齊ニ之カ實行ヲ圖ルヘシ但シ拂下、保管轉換ハ準備ノ
ミニ止ムルモノトシ之カ實施ハ別命ス

軍管區司令官ハ所要ニ應シ管區内軍需動員部隊ノ長ヲ指揮スヘシ
一般ニ軍需品並ニ之カ生産施設ノ散逸、秘匿、破壞ヲ禁ス

左記

- 一 一般國民生活ノ必要等ニ鑑ミ軍需品、官有品ハ成ルヘク速カニ之ヲ
民間ニ拂下クルモノトシ概ネ左ニ準據スルモノトス
 - ノ 飛行機、武器、彈藥、器材等（左ニ掲クルモノヲ除ク）ハ燒却煙
滅スルコトナク現在ノ儘保管シ實情ヲ調査整理シオクモノトス
 - 2 飛行機、車輛等ニシテ民間ノ輸送並農耕用等ニ充用シ得ルモノハ
大部ヲ民間ニ拂下ク
 - 3 軍保有資材中鐵道有用品並ニ鐵道部隊保有ノ裝備資材ハ還輸省
ニ優先保管轉換ス

陸軍省 第三六三第一
昭和二十年八月十七日

（借上）

船、海船、戎克等ハ原船主ハ通航擔任會社ヲ含ム。又ハ當該地

區統制會社ニ拂下クル等適宜ノ處置ヲ採ルモノトス。

5 通信器材及同附屬資材ハ最後迄通信ヲ確保スヘキモノヲ除キ他ハ

逓信院、朝鮮總督府逓信局ニ保管轉換ス。

6 被服、糧秣（主食、副食ヲ除ク）、需品、衛生材料、醫藥資材等

ハ所要量ヲ殘置シ他ハ民間ニ拂下ク

7 燃料、油脂類ハ其ノ大部ヲ民間ニ拂下ク但シ之カ使用ニ關シテハ

濫用ニ關シサル如ク指導スルモノトス

8 原材料關係ニ就テモ右ニ準シ處置ス

9 特殊資材ノ處理ニ就テハ左ニ據ルモノトス

イ 化學戰資材ハ民間ニ拂下クルコトナシ但シ國粉ノ如キモノヲ除

ク

ロ 機密保持ニ關シテハ特ニ注意スルモノトス

ニ 軍需産業ハ努メテ一般平和産業ニ轉換シテ左ニ準據ス

ルモノトス

兵器工業ハ努メテ鐵道、自動車其ノ他車輛類、農器具、漁撈器具、生活必需品等ノ製造ニ轉換セシム

下請工場ノ處理ニ就テモ右ニ準ス

2 前項處理ニ伴ヒ官有施設、原材料（官給材料ヲ含ム）ハ努メテ廣範圍ニ民間ニ分散拂下ク

3 食糧（麥、米、大豆、小麦、粟、雑穀）原料トスル燃料生産ヲ停止ス

4 土地建築物等ノ處理ハ左記ニ準據スルモ、**官有施設ノ管理、監督ヲ停止ス**

ノ臨時構築物ニシテ民間ニ於テ利用可能ノモノハ最奇ノ民間、團體等ニ交付又ハ拂下ケ其ノ他ノモノ及國有財産ハ管轄者ニ於テ大藏省ニ移管スルモノトス

2 借上土地、建造物ハ原狀ニ復シ速カニ之ヲ返却ス但シ原狀ニ復スルコト困難ナルモノニアリテハ所要ノ補償ヲ支拂フモノトス

3 現ニ實施中ノ工事ハ民功滴養上必要ナルモノヲ除キ現狀ヲ以テ之ヲ中止シ契約ヲ解除ス

又軍ノ借上シアル通信施設ハ原所屬機關ニ返還スルモノトス

4 前記號ニ伴フ經理的處理ハ左ニ準據スルモノトス

ノ軍需品並ニ原材料及軍需生産施設ノ拂下ハ原則トシテ有賸トス

但シ地方官廳等ニ對スルモノハ無賸保管轉換トスルコトヲ得、又有賸拂下代金ハ已ムヲ得サル場合ニ於テハ直チニ全額支拂ヲ要セサルモノトス

2 現ニ締結中ノ契約ノ整理ニ關シテハ左ニヨルモノトス

イ 既納部分ニ對スル代金ハ速カニ支拂ヲ完了スルモノトス

ロ 賣買請負契約等ニシテ未タ履行ニ至ラサルモノハ契約ヲ解除スルモノトス

ハ 契約解除後特ニ業者ヨリノ損害賠償ノ請求ナキ場合ニハ契約ニ隨伴スル前金拂、概算拂、軍需手形ノ認證額、保證手形ノ保證額、無賸官給材料ノ評價價格ノ返還請求ヲナササルコトヲ得

ニ業者ヨリ契約解除ニ伴フ損害賠償ノ請求アリタル場合ニハ業者ノ生産（又ハ工事）ヲ要シタル損失額ト前金拂、概算拂、軍需手形ノ認證額及保證手形ノ保證額並ニ無賸官給材料ノ評價價格

ト相殺スルコトヲ得但シ無贖官給材料ヲ別途有贖拂下クルコト
ヲ妨ケス

ホ、契約解除ニ伴フ業者ノ生産ニ要シタル損失ハ原則トシテ契約品
ノ生産（又ハ工事）ニ要シタル所要経費ヨリ残存價格ヲ見積リ
控除シタル金額ニヨルモノトス

ハ、軍需手形ノ認證額及保證手形ノ保證額ハ満期日ノ如何ニ拘ラス
受領代理入タル日本興業銀行及日本銀行ニ支拂ヲナスト共ニ手
形番號、手形金額、振出入ヲ通報スルモノトス

軍需作業員ノ従業員中學生、徴傭工及其ノ傭工員ニシテ歸郷後定職ヲ
有スルモノハ歸郷セシメ軍需ハ民間人タルノ身分ニ變更ス
退職ニ伴フ給與ニ關シテハ別ニ指示ス

六、保有軍需品及軍需工業等ニシテ現物引渡ニ際シ照会ニ必要ナル書類
及軍需品等ニシテ民間ニ拂下ケタルモノノ書類ハ之ヲ整備シテ其
ノ間組歸還義務等並ニ之ヲ將來來購根拠殘存サカ如期必特注意ス
ルモノトス其ノ他ノ機密書類ハ特ニ必要ナルモノノ外之ヲ燒却ス

關係民間工場等ノ書類ノ整理ニ關シテモ同様ニ指示スルモノトス
七、拂下（保管移換）ノ對象ハ原則トシテ地方官廳、自治體等其ノ他民
間團體等トシテ輸送及國民生活維持ニ資スルモノヲ優先トシ個人
ニ利益ヲ壟斷セシメサル如クスルモノトス

八、實行ニ方リテハ軍ノ輸送力、燃料等ノ使用ニ關シテハ特ニ制限セス
九、軍研究施設、資材人員ハ民間研究機關ニ轉屬（保管移換）シ悉力民
力ノ養成ニ資スルモノトス

一〇、本命令ハ敵ノ上陸前確實ニ燒却シ之ヲ敵手ニ委セサルコトニ關
シテハ萬全ヲ期スルモノトス

(用濟後燒却)

軍事機密

(紙數一枚)

昭和二十年八月十八日陸軍省調製

朕帝國陸軍復員要領ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名 御璽

昭和二十年八月十八日

陸軍大臣 稔彦 王

軍令陸甲第一百十六號

帝國陸軍復員要領

第一條 本要領ハ帝國陸軍部隊ノ復員復歸及陸軍平時編制部隊ノ閉鎖ヲ含ム以下同シニ關スル事項ヲ定ム

第二條 復員スヘキ部隊ハ帝國全陸軍部隊トス

第三條 復員實施ノ細部ニ關シテハ陸軍大臣參謀總長協議決定スルモノトス

復員要領ニ關スル事項ニ關シテハ陸軍大臣參謀總長協議決定スルモノトス

陸軍

(用済後焼却)

軍事機密

(紙數 六枚)

昭和二十年八月十八日陸軍省調製

陸機密第三六九號

内地(甲)

帝國陸軍復員要領細則規定ノ件達

關係陸軍部隊

帝國陸軍復員要領細則左ノ通定ム

昭和二十年八月十八日

陸軍大臣 稔 彦 王

帝國陸軍復員要領細則

第一條 本細則ハ帝國陸軍復員要領以下要領ト略稱シ復員トアルハ復歸及陸軍平時編制部隊ノ閉鎖ヲ含ムニ基キ實施ニ關スル事

項ヲ規定ス

本細則ニ規定セサル事項ニ關シテハ復員管理官適宜之ヲ規定スルモノトス

外地部隊ノ復員ニ關シテハ別ニ之ヲ示ス

第二條 復員部隊ニ屬スル 御眞影勅諭勅語及軍旗ノ御處理ニ關シテハ昭和二十

年陸機密第三六二號陸機密電第六九號及陸機密第三六五號陸機密電第七二號ノ

趣旨ニ據リ復員管理官ノ定ムル所ニ從ヒ適宜善處スルモノトス

前項ニ據リ御處理ヲ終了シタルトキハ其ノ旨

スル部隊ニ在リテハ軍部ニ陸軍大臣ニ

1178
1179

(用濟後燒却)

軍事機密

(紙數 六枚)

昭和二十年八月十八日陸軍省調製

陸機密第三六九號

内地(甲)

帝國陸軍復員要領細則規定ノ件達

關係陸軍部隊

帝國陸軍復員要領細則左ノ通定ム

昭和二十年八月十八日

陸軍大臣 稔 彦 玉

帝國陸軍復員要領細則

第一條 本細則ハ帝國陸軍復員要領以下要領ト略稱シ復員トアルハ復歸及陸軍平時編制部隊ノ附録ヲ含ムニ基キ實施ニ關スル事

項ヲ規定ス

本細則ニ規定セサル事項ニ關シテハ復員管理官適宜之ヲ規定スルモノトス

外地部隊ノ復員ニ關シテハ別ニ之ヲ示ス

第二條 復員部隊ニ屬スル 御眞影、勅諭、勅語及軍旗ノ御處理ニ關シテハ昭和二十

年陸機密第三六二號陸機密電第六九號及陸機密第三六五號陸機密電第七二號ノ

趣旨ニ據リ復員管理官ノ定ムル所ニ從ヒ適宜善處スルモノトス

前項ニ據リ御處理ヲ終了シタ陸軍省陸軍部陸軍大臣ニ在リテハ軍旗ノ寫ル略歴ト共ニ速ニ陸軍大臣ニ報告スル

1178

1179

モノトス

第三條 要領實施ニ方リテハ承諾必謹タル皇軍ノ眞姿ヲ顯現シ且各級指揮官ハ精神教育ノ徹底ヲ期スルモノトス

第四條 復員管理官ハ當該部隊所屬最高指揮官トシ復員部隊ノ復員順序及復員實施ノ時期ニ關シ特ニ定ムルモノ左ノ如シ

1 復員實施ニ方リテハ成ルヘク社會的不安ヲ惹起セシメサル如ク考慮スルト共ニ輸送能力ヲモ勘案ノ上整齊タル實施ニ努ムルモノトス

2 大本營陸軍部、陸軍省、教育總監部、陸軍兵器行政本部、同隸下作業廳、陸軍航空本部、總軍司令部、航空總軍司令部、航空軍司令部、軍管區司令部、近衛第一師團、師管區司令部、師管區步兵及通信補充隊、航空師團司令部、船舶司令部、船舶輸送諸部、内地鐵道司令部、停車場司令部、大本營陸軍通信隊、憲兵部隊、俘虜情報局、俘虜收容所、陸軍高等軍法會議、陸軍留守業務部、聯隊區司令部、陸軍補給諸廠及陸軍東京經理部ノ復員實施ハ當分ノ間之ヲ行ハサルモノトシ其ノ時期ニ關シテハ別ニ示ス

3 前號以外ノ部隊ニ在リテハ別ニ示スモノノ外復員管理官ニ於テ之ヲ規定スルモノトシ其ノ實施ノ時期ニ關シテハ別ニ之ヲ示ス

- 4 第一、第二總軍司令官及第五方面軍司令官ハ各方面軍毎ニ精銳ナル一兵團ヲ別ニ示ス時期迄殘置シ治安警備ノ後據タラシムルモノトス
- 5 通信連絡等ニ必要ナル部隊等ハ關係部隊又ハ司令部等ノ復員完結迄之ヲ復員セサルモノトス
- 6 輸送關係部隊ハ軍需品ノ處理ノ進捗ニ應シ逐次復員スルモノトス
- 第五條 軍管區司令官師管區司令官ノ治安警備ニ關スル職責ハ別ニ示ス時期迄仍從前ノ規定ニ據ルモノトス
- 第六條 復員部隊ハ輸送ノ混亂防止及途中ノ給與等ヲ考慮シ成ルヘク編成地歸還後復員部隊ハ携帶兵器ノミスルモノトシ已ムヲ得サルモノハ當該部隊ノ現所屬最高指揮官ニ於テ適宜之ヲ現地ニ變更スルコトヲ得
- 前項編成地歸還後復員完結スル部隊ニ在リテハ其ノ復員業務ハ成ルヘク現地ニ於テ之ヲ實施スルモノトシ編成地到著後速ニ復員完結スルモノトス
- 又現地ニ於テ除隊(歸休除隊ヲ含ム以下同シ)召集解除又ハ豫備役編入スルヲ適當ト認ムル者ハ適宜之ヲ解散セシムルコトヲ得
- 第七條 復員部隊ノ人員ノ處理ニ關シ特ニ定ムルモノ左ノ如シ

1 現役將校 特別志願ヨリ現役ニ採用セラレタル者ヲ含ム ニ在リテハ別ニ示ス時期迄全員適宜ノ部隊ニ命課

ノ上残置スルモノトス但シ特ニ必要ト認ムル者ニ付テハ所管長官竝之ト同等

以上ノ權アル長官ハ昭和二十年陸密第三二五九號陸軍武官命課配屬規定第五

條ノ人員 中佐以下ノ參謀ヲ含ムノ豫備役編入ヲ行フコトヲ得

2 陸軍文官同待遇者ニ在リテハ辭令ヲ用フルコトナク退官(退職)セシメラレタルモノトス

3 前二號以外ノ者ハ所屬部隊復員ト共ニ除隊召集解除豫備役編入解職(雇傭)セシメラレタル(セシムル)モノトス

4 陸軍部外ノ官廳等ヨリ從軍中ノ文官以下ニ在リテハ成ルヘク速ニ從軍ヲ解除シ原所屬廳等ニ復歸セシムルモノトス

5 内地ニ在ル兵站病院野戰病院等ノ入院患者ハ成ルヘク速ニ最寄陸軍病院ニ轉送(轉屬)スルモノトス

6 陸軍病院以外ノ部隊 第四條第二號ノ部隊ヲ除クニ服務シアル現役軍醫藥劑齒科醫衛生各將校

衛生下士官及看護婦ハ之ヲ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官 陸軍大臣、參謀總長、教育總監、航空總軍司令官

管轄スル軍管區司令官ト協議シ實施スルモノトス

該下部隊ニ在リテハ當該所管長官トシ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官ト協議シ實施スルモノトス

該下部隊ニ在リテハ當該所管長官トシ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官ト協議シ實施スルモノトス

該下部隊ニ在リテハ當該所管長官トシ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官ト協議シ實施スルモノトス

該下部隊ニ在リテハ當該所管長官トシ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官ト協議シ實施スルモノトス

トシ之ニ伴ヒ編制定員増加配屬人員ヲ含ムニ過剩ト爲レル人員ハ先ツ召集者ヨリ逐次召集解除又ハ豫備役編入セシムルモノトス

7 陸軍監獄ニ於テ行刑中ノ軍人軍屬其ノ他陸軍監獄令第一條第一項第一號記載ノ者ハ速ニ除隊召集解除豫備役編入又ハ解職履傭等其ノ身分ヲ喪失セシムルノ手續ヲ採ルモノトス

8 陸軍大臣教育總監下學校ニ分遣中ノ下士官兵中學校所在地ノ軍管區内ノ部隊ヨリノ分遣者ハ當該學校ニ轉屬スルモノトシ其ノ他ノ者ハ原所屬部隊ニ復歸セシムルモノトス

第八條 復歸部隊ノ人員中從來ノ經緯ノ説明殘務整理物品監視等ニ必要ナル者ハ前條ニ拘ラス復員管理官ノ定ムル所ニ據リ一時適宜ノ部隊ノ定員外トシテ殘置シ部隊ノ狀況ヲ明ナラシムルノ措置ヲ講シ置クモノトス之カ爲作戰部隊中獨立混成旅團司令部之ニ準スルモノ及航空部隊ニ在リテハ航空地區司令部ヲ含ム以上ノ司令部及學校本部ハ其ノ將校ノ大部ヲ殘置スルモノトス

第九條 復員部隊ノ留守補充業務擔任部隊ハ復員部隊ノ恩賞慰恤等留守業務ノ爲師管區司令官師管區部隊以外ノモノニ在リテハ之ニ準スル者及之ト同等以上ノ權アル長官ノ定ムル所ニ據リ所

要ノ人員ヲ其ノ編制定員ニ拘ラス最寄聯隊區司令部ニ轉屬スルモノトス

第十條 朝鮮ニ本籍ヲ有スル兵ハ別ニ示ス時期迄復員管理官ノ定ムル所ニ據リ適宜ノ部隊ノ定員外ト爲シ置クモノトス但シ内地ニ居住ヲ希望シ就職ノ確實ナル者ハ除隊召集解除豫備役編入ヲ爲スコトヲ得

第十一條 第四條第2號ノ部隊ニ在リテモ左ノ各號ノ該當者ハ當該部隊ノ復員時期ニ拘ラス爲シ得ルハ之ヲ除隊召集解除又ハ豫備役編入若ハ從軍解除セシムルコトヲ得

1 農業従事者中特ニ必要ナル者

2 交通通信關係者

3 鑛山特ニ石炭従事者

4 他官廳等ヨリノ從軍文官以下

第十二條 復員管理官ハ部隊保管馬ノ處理ニ關シ左ニ據ルモノトス

1 部隊保管馬及雜役馬ハ適宜地方廳ヲ通シ民間ニ拂下クルモノトシ已ムヲ得サレハ無償交付スルコトヲ得

2 前號ノ馬匹ニ對シテハ所要ノ馬具、輜重車輛管理資材、蹄鐵蹄釘、馬糞等ヲ附ス

ルモノトス

3 軍貸付馬及預託幼駒ハ其ノ管區内民間ニ地方廳ヲ通シ拂下クルモノトシ已ムヲ得サレハ無償交付スルコトヲ得

第十三條 復員部隊ノ管理シアル軍犬、軍鳩ハ成ルヘク地方關係機關ヲ通シ民間ニ拂下又ハ無償交付スルモノトス

第十四條 復員部隊ノ有スル軍需品ノ處理ニ關シテハ昭和二十年陸機密第三六三號ニ規定スル所ニ據ルノ外左ニ據ルモノトス

軍需品ハ復員管理官ノ定ムル所ニ據リ其ノ品目、員數等ヲ明ニシタル上交通ノ便ヲ考慮シ概ネ部隊成ルヘク聯隊及之ニ準スル部隊トス所在地毎ニ集積シ置クモノトシ特ニ現狀ヲ保持スルニ努メ散逸、隱匿、破壊ヲ嚴ニ戒ムルモノトス但シ衛生材料(作戰集積及常續用ヲ含ム)ハ最寄陸軍病院ニ保管轉換スルモノトス又復員部隊ノ軍需品中特ニ必要ナルモノニ限り復員管理官ニ於テ當該地域ヲ管轄スル軍管區司令官ト協議ノ上其ノ隸下部隊等ニ之ヲ保管ヲ依託スルコトヲ得

前項ニ據リ軍需品ヲ集積シタルトキハ復員管理官ノ定ムル所ニ據リ所要ノ人員ヲ以テ警備セシムルモノトシ自動車類等ニ在リテハ所要ノ取扱人員ヲモ殘置ス

ルモノトス

第十五條 復員部隊復員ニ伴フ諸給與ニ關シテハ昭和二十年陸密第五七二九號ヲ

據リ處理スルモノトス

前項處理ニ伴ヒ部隊ニ殘存スル被服ハ前條第二、第三項ニ據リ處理スルモノトス

第十六條 土地建造物ノ處理ニ關シテハ昭和二十年陸機密第三六三號ニ規定スル

所ニ據ルモノトス

第十七條 復員部隊ニ保管シアル共有品ハ復員管理官ニ於テ地方機關ニ拂下又ハ

無償交付スルモノトス

復員部隊ニ保管シアル共有金使用殘額ハ臨時軍事費歲入(科目雜收入、雜入)ニ納入

スルモノトス

第十八條 復員部隊ノ保管シ又ハ貸與ヲ受ケアル機祕書類ハ其ノ要度ニ應シ復

員完結迄ニ逐次之ヲ處理スルモノトス

第十九條 戰時名簿、考料表等ハ死歿者ニシテ留守業務處理ノ終了セサルモノヲ除

キ燒却スルモノトシ兵籍、文官名簿ハ悉皆之ヲ本籍地聯隊區司令部ニ於テ確實ニ

保管シ置クモノトス之カ爲現ニ部隊ニ保管シアル兵籍、文官名簿ハ速ニ之ヲ本籍

地聯隊區司令部ニ送付スルモノトス

功績名簿ハ死歿者及生存者中殊勳功績ヲ有スルモノハ燒却スルコトナク速ニ從來通り進達シ其ノ他ニ在リテハ燒却スルモノトス

第三十條 復員部隊ニ屬スル軍人軍屬ノ留守業務ハ別ニ指示スル所ニ據リ處理スルモノトス

第三十一條 陸軍動員計畫令細則ノ規定スル復員ニ伴フ諸報告ハ左ノ各號ノ外之ヲ要セザルモノトス

1 復員部隊ノ復員完結豫定日

2 第四條第4號ニ據リ特ニ殘置シタル部隊及人員數

3 第七條第6號ニ據ル轉屬後ノ將校職員名簿

4 第十四條ニ據ル軍需品集積地及其ノ品目員數ノ概數及同條第三項ニ據ル殘置人員ノ職階級別概數

第三十二條 復員部隊ハ其ノ完結前復員管理官ノ定ムル所ニ據リ復員式ヲ行フモノトス

第三十三條 復員部隊ノ輸送ハ左ニ據ルモノトス

1

復員輸送ハ現駐地ヨリ編成地迄ノ歸還輸送並復員後ノ輸送ニ區分シ内地鐵道司令官之ヲ計畫處理スルモノトス但シ復員後ノ輸送ニ於ケル計畫輸送ノ範圍ハ復員地ヨリ各人ノ歸還地所管師管區司令部(復員地ト同一軍管區内ニ在ルモノヲ除ク)所在地迄トシ左ノ復員後ノ輸送ニ關シテハ單獨旅行トス

(イ) 當該軍管區内限リノ輸送復員地及歸還地同一軍管區内ニ在ル場合トス

(ロ) 前項師管區司令部所在地ヨリ各人ノ歸還地ニ到ル輸送

(ハ) 一般ニ百名以内ノ輸送

右單獨旅行ハ適宜ノ列車ニ便乗セシムルモノトシ之カ列車ノ増發等ニ關シテハ内地鐵道司令官適宜斡旋スルモノトス

2

師團長及之ト同等以上ノ權アル長官ハ前號内地鐵道司令官ノ計畫スヘキ輸送ニ關シ隸下指揮下部隊ノ輸送請求ヲ速ニ内地鐵道司令官及關係地區鐵道司令官ニ提出スルモノトス

右輸送請求ニハ特ニ左ノ事項ヲ明ニシ其ノ速達ヲ期スルモノトス

(1) 部隊名

(2) 出發地及到着地別輸送人員但シ到着地ハ復員後ノ輸送ニ在リテハ各人ノ

歸還地所管師管區司令部所在地トス

(3) 出發可能日時

3 各方面軍(軍管區)司令官及内地鐵道司令官ハ相互協議ノ上當該軍管區内ニ在ル部隊ノ輸送順序ヲ定ムルモノトシ内地鐵道司令官ハ左ノ期日内ニ輸送ノ大部ヲ終了スル如ク計畫處理スルモノトス

(イ) 西部軍管區内ニ在ル部隊 概ネ三十日

(ロ) 其ノ他ノ軍管區内ニ在ル部隊 概ネ二十日

右各部隊毎ノ輸送第一日ハ方面軍(軍管區)司令官内地鐵道司令官協議決定スルモノトシ概ネ右期間内ニ成ルヘク平均輸送スルモノトス

4 方面軍(軍管區)司令官ハ内地鐵道司令官ト密ニ連繫シ管内主要驛ニ於ケル乗車統制ニ任シ各乗車驛ニ於ケル混亂防止ニ努ムルモノトシ且復員後ノ輸送ニ在リテハ特ニ各部隊ヲシテ確實ナル輸送指揮官概ネ中隊長以上ヲ附シ整齊タル輸送實施ニ遺憾ナカラシムルモノトス

5 本輸送途中ニ於ケル給養ハ各部隊毎ニ之ヲ實施スルモノトシ乗車ノ際所要ノ糧秣特ニ乾パン類ヲ携行セシムルモノトス但シ湯茶ノ補給ハ内地鐵道司令

官之ヲ擔任スルモノトス

6 本輸送ハ各人毎ニ復ト朱書セル公務運賃割引證又ハ下士官兵旅客運賃割引證ヲ以テ輸送證票トシ之カ運賃ハ陸軍省ヨリ一括運輸省ニ支拂フモノトス
前項割引證ノ輸送區間ハ内地鐵道司令官ノ計畫スルモノト否トニ拘ラス現駐地ヨリ各人ノ歸還地迄ヲ記入スルモノトシ最終到着驛ニ於テ當該驛長ニ之ヲ提出スルモノトス

附 則

一 除隊召集解除豫備役編入等セル者ニ對シテハ所屬部隊長ニ於テ適宜ノ證明書ヲ交付スルモノトス